

社会・文化・教育



キーワード：マイノリティの近現代史、人権教育、夜間中学

近現代日本の教育とマイノリティー夜間中学を中心に

現代社会学部 現代社会学科 講師
江口 怜 EGUCHI Satoshi

研究の内容

主に研究対象にしているのは、戦後日本の夜間中学と呼ばれる不思議な学校です。戦後日本では、中学校までが義務教育になりましたが、貧困や差別、障害や病気など、様々な事情で学校に通うことができず、昼間働く子どもが多数存在しました。そこで、夜に授業を行う中学校が草の根で作られました。そして、その後の夜間中学は、子ども時代に十分に学校に通えなかった成人の非識字者や、障害のある人たち、在日コリアン、中国残留日本人孤児、ベトナム難民、日本に来たニューカマーの外国人など多様なマイノリティが学ぶ学校として存続してきました。

私は、夜間中学制度的側面と、多様な学習者の人生（ライフヒストリー）、教師や市民の実践等を総合的に研究しています。それは、国際的な基礎教育・人権の保障、マイノリティの言語・文化の尊重等の問題と深く関わります。夜間中学などで行われたマイノリティの教育の歴史を振り返ることは、真にインクルーシブ（包摂的）な学校と社会のあり方を考えることに結びつくのです。



理事を務める基礎教育保障学会のWebサイト



初の単著(2022年)で奨励賞を複数受賞

産学連携・社会連携へのアピールポイント

夜間中学・人権教育・インクルーシブ教育・識字教育・ボランティア教育・教育と福祉の連携・学校と地域の連携等のテーマに関する委員や講師、マスメディアでのコメント等の経験あり。全国の多様な現場・研究機関等とつながりながら研究を深めています。ぜひ積極的なお声がけをお待ちしています。

Researchmap (江口 怜)

URL : <https://researchmap.jp/7000017838>

